

## 高水三山山行報告

【山行日】2021年 12月 4(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 2,500円

【メンバー】CL: 鈴木、SL大西、安西、石澤、  
嶋田、島田、関、田村、廣瀬。福島、渡辺

【コースタイム】岩舟支所P6:00＝御嶽駅 P7:30/8:02++  
軍畑駅 8:07/8:15～高源寺 8:50～常福院 10:00～  
高水山 10:25～岩茸岩山 10:50/11:20～惣岳山  
11:50～御嶽駅P13:40/14:00＝岩舟支所P16:00

山行アンケートで高水三山のリクエストがあり、

久しぶりに軍畑駅から御嶽駅まで反時計回りの周回コースを計画した。

このコースは首都圏からのアクセスが良いので、奥多摩入門コースとして人気の山である。

当会でも女性に人気で多くの申し込みがあり、11名が2台の車に分乗し岩舟支所を出発する。

東北道から圏央道を走り、青梅ICで降りて吉野街道を進み御嶽駅近くの駐車場に車を止める。



出発の準備を整えたら御嶽駅まで歩き、JR 青梅線に乗って2つ先の軍畑駅で下車する。トイレを済ませストレッチを行ったら出発し、駅東側の踏切を渡って平溝川に沿う都道へ下る。しばらく

先で成木方面への都道を右に分け、さらに平溝川に沿って歩いて行く。今回は女性の参加者が多いので、道路歩きはとても賑やかだった。

清流とカエデの紅葉を見ながら歩き、平溝の集落に入るとY字路に高水三山入口の標識が立っている。右に進むと直ぐに高源寺があり、駐車場

にトイレも設置されている。小休止して衣服調整し、水分補給を行って出発する。坂道をマス釣り場

まで車道をたどり、マス釣り場の先から沢に沿う

山道になる。大きな砂防堤の脇を階段で登り、

沢から離れると急坂をしばらく登るようになる。

後ろを振り返ると後続の登山者が続々と登ってくる。

途中で休憩しリンゴや菓子を食べていると、

大勢の登山者が追い抜いて行った。この先から

尾根に乗ると傾斜が緩くなり、道脇に置かれた

丁目石を目安に植林帯の道を登って行く。

小曾木からの道を右に合わせ、直進すると常福

院の山門の下に出る。石段を登って山門をくぐり、

常福の境内に入ってベンチで休憩を取る。

常福は鎌倉時代からの古刹で、本堂は東京都の重要文化財に指定されている。





立派な本堂を参拝し、ミカンや菓子を食べてエネルギーを補給する。本堂の裏にはトイレが有り、女性達にとってはとてもありがたい。本堂の裏手に登山道があり、ほんのひと登りすれば高水山の山



頂に出る。山頂には大勢の登山者がいて、写真を撮るのも順番待ち。高校の山岳部パーティーが休んでおり、女子部員の一人が記念写真を撮ってくれた。高水山から滑りやすい急坂を下り、広い尾根道をたどって行くと岩茸石山との鞍部に着く。登山者やトレイルランの方々が大勢行きかい、この時季にこれだけの人数には驚いた。鞍部から急登に一汗かけば、東西に細長く広い岩茸石山山頂に着く。東から北側の展望が開けており、奥武蔵の展望が素晴

らしい。山頂も大勢の登山者で賑わっており、記念写真を撮ったら場所を探してランチタイムとする。一人で座っていたベンチを借りて、お湯を沸かして皆さんのカップ麺やスープにお湯を入れる。

皆さんそれぞれの場所を確保し、景色を眺めながらランチを楽しむ。デザートをいただき、お茶を飲んだら山頂を後にして惣岳山へ向かう。山頂の西端から縦走路を下るが、かなりの急坂で足場も悪

く慎重に下って行く。鞍部から木の根や岩が多い急坂を登り、ここを下ると東側が開けた伐採地を歩き、展望を楽しみながら歩いて行く。

尾根道を登り返すと惣岳山山頂に出て、青渭神社の前で休憩を取る。青渭神社は平安初期に書かれた延喜式に載るといふ古社で、付近は鬱蒼とした杉林に囲まれ霧気がある神社だ。前回来た時は彫刻が素晴らしかったが、外してしまったのか今回は見られなかった。

惣岳山から樹林の中をひと下りしたところに真名井天神があり、さらに山腹を絡んでグングン



下って行く。やがて送電鉄塔が立つ台地に出て、ここで最後の休憩を取る。リンゴやゼリーをいただき、疲れた足を休めたら御嶽駅に向かって下って行く。植林帯の急坂を下って行き、九十九折れの道を下ると慈恩寺の境内に出る。石段を降りて道路に出て、踏切を渡って狭い階段を降りると御嶽駅に着く。トイレを済ませ、駅前の売店でわさびをゲットしたら駐車場に戻る。靴を履き替えたら車に乗り帰路につく。青梅市街の渋滞も無く、高速道も順調に走り予定よりも早く岩舟支所に帰着した。